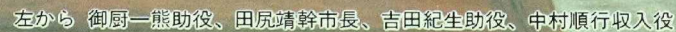
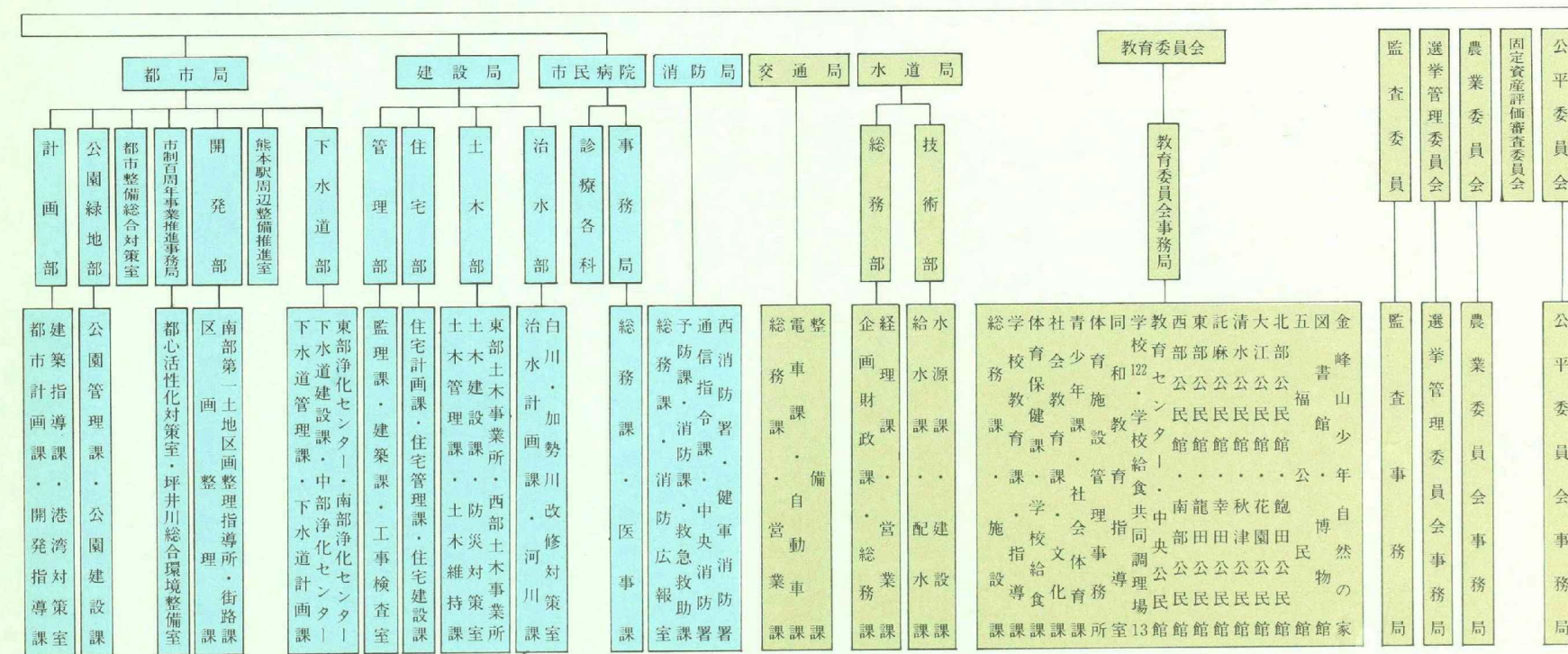


HUMAN CITY
KUMAMOTO



代	氏	名	就任年月日	退任年月日
第1代	杉	村大八	明治22. 5. 6	明治26. 7. 9
2	松	崎為己	" 26. 9. 15	" 30. 8. 2
3	辛	島格	" 30. 9. 13	大正 2. 1. 20
4	山	田珠一	大正 2. 4. 2	" 3. 10. 10
5	依	田昌兮	" 4. 1. 14	" 6. 9. 3
6	佐	柳藤太	" 6. 11. 20	" 10. 11. 19
7	高	橋守雄	" 11. 1. 19	" 14. 7. 13
8	辛	島知己	" 14. 9. 14	昭和 4. 7. 4
9	山	田珠一	昭和 5. 2. 5	" 9. 4. 17
10	山	隈康	" 9. 5. 14	" 17. 5. 13
11	平	野龍起	" 17. 6. 25	" 20. 8. 10
12	石	坂繁	" 20. 10. 4	" 21. 3. 11
13・14	福	田虎亀	" 21. 6. 14	" 23. 2. 9
15	佐	藤真佐男	" 23. 4. 7	" 27. 3. 7
16	林	田正治	" 27. 3. 20	" 31. 2. 23
17・18	坂	口主税	" 31. 3. 16	" 38. 1. 4
19・20	石	坂繁	" 38. 2. 15	" 45. 11. 26
21~24	星	子敏雄	" 45. 12. 20	" 61. 12. 6
現市長	田	尻靖幹	" 61. 12. 7	在 任 中

議 長		市 長
		助 役



市議会

HUMAN CITY
KUMAMOTO

市議会は、市民から選ばれた議員56名で構成されています。会派としては、自民党(25名)、公明党(8名)、社会党(8名)、市民クラブ(7名)、民社党(3名)、自由クラブ(3名)、熊本クラブ(1名)、市政クラブ(1名)の8会派が結成されています。

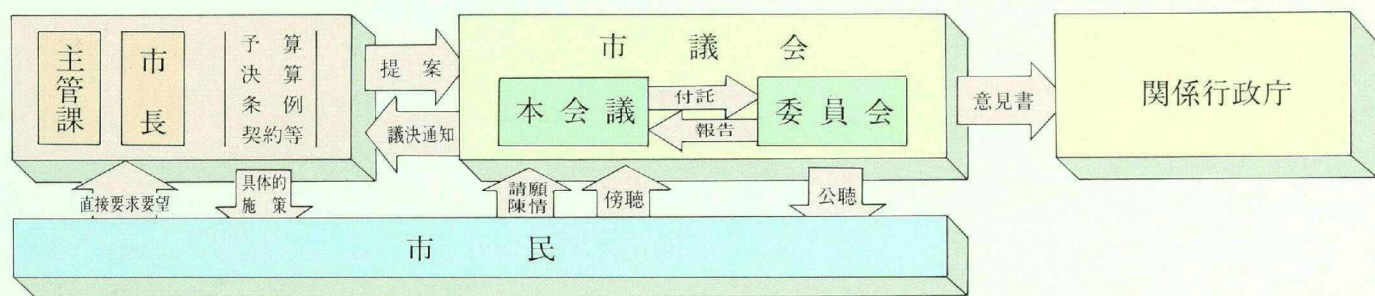
会議は、年4回開かれる定例会と必要がある場合に開かれる臨時会があります。内部の審査機関としては、常任委員会と議会運営委員会及び特別委員会があります。常任委員会は総務・教育民生・保健衛生・経済・建設・公営企業の6委員会に分かれ、所管部門の事務を調査し、議案・陳情などの審査を行います。議会運営委員会は議会運営に関する調査を行います。特別委員会は必要に応じて議会の議決により設置されますが、付議された事件を審査するもので、現在、長寿社会対策・新都市総合調査・議会だより検討の各特別委員会があります。



嶋田 幾雄 議長

西田 続 副議長

●市議会のしくみ



●市議会議員 (平成5年4月1日現在)

氏名	会派	氏名	会派
嶋田 幾雄	自民党	鈴木 昌彦	民社党
西田 続	市民クラブ	上村 恵一	社会党
馬場 成志	自民党	磯道 文徳	公明党
竹原 孝昭	自民党	西海 泰史	自民党
北嶋 弘	自由クラブ	伊形 寛治	自民党
下川 寛	市民クラブ	中村 徳生	自民党
佐々木 俊和	社会党	村上 裕人	自民党
田辺 正信	社会党	竹本 勇	自民党
大江 政久	社会党	大石 文夫	自民党
古川 泰三	自民党	西村 建治	市民クラブ
鷺山 法雲	自民党	本田 光夫	民社党
税所 史熙	自民党	家入 安弘	社会党
岡田 健士	自民党	角田 勝浩	公明党
河村 寅麿	自民党	亀井 省治	公明党
田尻 清輝	市民クラブ	中沢 誠生	公明党
鎌農 健蔵	市民クラブ	村上 春生	自民党
田尻 将博	民社党	田尻 武男	自民党
東 俊祇	社会党	紫垣 良	自民党
島田 俊六	公明党	島永 慶孝	自民党
加藤 静穂	自民党	矢野 昭三	自民党
諸熊 文雄	自民党	藤山 増美	市民クラブ
荒木 章博	自民党	白石 正	自由クラブ
江藤 正行	自民党	村山 義雄	自由クラブ
荒木 哲美	自民党	森田 粹彌	社会党
奥田 光弘	熊本クラブ	中山 弘規	社会党
宮原 正一	市民クラブ	西野 法久	公明党
落水 清弘	市政クラブ	佐々木 亮	公明党

●常任・特別委員会 (平成5年4月1日現在)

名称	定数	所管事項
総務委員会	10	市長公室、企画調整局、総務局、会計室、消防局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項
教育民生委員会	10	市民局、教育委員会の所管に属する事項
保健衛生委員会	9	保健衛生局、環境保全局の所管に属する事項
経済委員会	9	産業局、中小企業局、農業委員会の所管に属する事項
建設委員会	9	都市局、建設局の所管に属する事項
公営企業委員会	9	水道局、交通局の所管に属する事項
議会運営委員会	14	議会運営に関する調査
特別委員会		
長寿社会対策特別委員会	13	高齢化社会に関する対策調査
新都市総合調査特別委員会	13	新都市振興に関する総合的な調査
議会だより検討特別委員会	13	議会だよりに関する調査

●歴代市議会議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	有馬 源内	明治22. 4.26	明治24. 1.21	14	大塚 勇次郎	昭和23. 6. 5	昭和26. 4.29	27	紫垣 正良	昭和50. 5.16	昭和52. 6. 4
2	興津 景章	" 24. 1.22	" 28. 5.13	15	大塚 勇次郎	" 26. 5.15	" 30. 4.30	28	上田 堅太	" 52. 6. 4	" 54. 4.30
3	河原 惟親	" 28. 5.14	" 31. 5.22	16	兼坂 安次	" 30. 5.21	" 34. 4. 8	29	島永 慶孝	" 54. 5.14	" 56.12. 8
4	吉永 為己	" 31. 5.23	" 36. 2. 5	17	打出 信行	" 34. 6.12	" 36. 3.24	30	藤山 増美	" 56.12. 8	" 58. 4.30
5	山田 珠一	" 36. 2. 6	" 37. 4.30	18	寸坂 幸夫	" 36. 3.24	" 38. 4.30	31	宮原 光男	" 58. 5.18	" 60. 9. 6
6	吉永 為己	" 37. 5.27	大正 2. 4.30	19	阿部 次郎	" 38. 5.18	" 40. 3.18	32	大石 文夫	" 60. 9. 6	" 61.12.15
7	林 千八	大正 2. 5.10	" 6. 4.30	20	井上 常八	" 40. 3.18	" 40.12. 7	33	内田 幸吉	" 61.12.15	" 62. 4. 3
8	山隈 康	" 6. 5.15	" 10. 9.30	21	石井 辰雄	" 41. 7. 4	" 42. 4.30	34	西村 建治	" 62. 5.22	" 63.12.16
9	迫 源次郎	" 10.10.14	" 14. 9.30	22	阿部 次郎	" 42. 5.20	" 43. 7. 3	35	村上 春生	" 63.12.16	平成 2. 3.26
10	山隈 康	" 14.10.12	昭和 9. 5. 7	23	坂梨 日露	" 43. 7.13	" 45.12. 4	36	矢野 昭三	平成 2. 3.26	" 3. 4.30
11	平野 龍起	昭和 9. 5. 8	" 17. 6.14	24	黒田 弥一郎	" 45.12. 4	" 46. 4.30	37	嶋田 幾雄	" 3. 5.17	在任中
12	佐藤 真佐男	" 17. 7.23	" 22. 4.29	25	落水 清	" 46. 5.20	" 48. 6. 6				
13	佐藤 真佐男	" 22. 6. 9	" 23. 4. 7	26	古川 国雄	" 48. 6. 6	" 50. 4.30				

●歴代市議会副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	下田 一直	明治22. 4.26	明治24. 1.21	16	平野 龍起	昭和 4.10.12	昭和 9. 5. 7	31	岩尾 恵	昭和44. 9.13	昭和46. 4.30
2	下田 耕造	" 24. 1.22	" 31. 5.22	17	橋本 寿七	" 9. 5. 8	" 17. 5.20	32	阪本 富	" 46. 5.20	" 48. 6. 6
3	片山 甚十郎	" 31. 5.23	" 32. 2. 7	18	西郷 一恵	" 17. 6.11	" 22. 4.29	33	荒木 昇	" 48. 6. 6	" 50. 4.30
4	林 定男	" 32. 2. 8	" 36. 2. 5	19	大塚 勇次郎	" 22. 6. 9	" 23. 6. 5	34	藤山 増美	" 50. 5.16	" 52. 6. 4
5	出田 彦太郎	" 36. 2. 6	" 36. 2.11	20	加川 恒次	" 23. 6. 5	" 26. 4.29	35	矢野 昭三	" 52. 6. 4	" 54. 4.30
6	園部 交雅	" 36. 2.12	" 36. 5.11	21	北上 利民	" 26. 5.15	" 28. 9. 5	36	上妻 重蔵	" 54. 5.14	" 56.12. 8
7	板垣 正軌	" 36. 5.12	" 37. 2.12	22	上野 勉	" 28. 9.25	" 30. 4.30	37	田尻 武男	" 56.12. 8	" 58. 4.30
8	有働 格四郎	" 37. 2.13	" 40.11. 4	23	森 光吉	" 30. 5.21	" 32.12.28	38	白石 石	" 58. 5.18	" 60. 9. 6
9	板垣 正軌	" 40.11.14	" 42. 1.27	24	吉村 貞次	" 34. 6.12	" 35. 3.21	39	北口 政	" 60. 9. 6	" 61.12.15
10	河田 巖	" 42. 1.28	大正 2. 4.30	25	坂梨 日露	" 35. 3.21	" 37. 7. 9	40	吉村 義潔	" 61.12.15	" 62. 4.30
11	井場 熊喜	大正 2. 5.10	" 6. 4.30	26	吉村 貞次	" 37. 7. 9	" 38. 4.30	41	竹本 勇	" 62. 5.22	" 63.12.16
12	峡 謙	" 6. 5.15	" 7. 3.10	27	石井 辰雄	" 38. 5.18	" 41. 7. 4	42	村上 裕人	" 63.12.16	平成 2. 3.26
13	藤野 乱	" 7. 3.11	" 10. 9.30	28	吉村 貞次	" 41. 7. 4	" 42. 4.30	43	佐藤 公	平成 2. 3.26	" 3. 4.30
14	水上 誠規	" 10.10.14	" 14. 9.30	29	佐藤 寿子	" 42. 5.20	" 44. 3.25	44	西田 続	" 3. 5.17	在任中
15	河田 巖	" 14.10.12	昭和 4. 9.30	30	古川 国雄	" 44. 3.25	" 44. 6.28				



財政

HUMAN CITY
KUMAMOTO

本市を取り巻く財政環境は、景気の低迷が長期化し、歳入面において、昨年に引き続く地方交付税の特例減額措置や景気を反映しての市税の伸び悩み等が懸念されるなど、従来に増して厳しい状況にあります。平成5年度、本市にとっては、新総合計画に基づく新たなまちづくり（水と緑の人間環境都市・いきいきとした市民福祉都市・活力あふれる交流拠点都市・風格あふれる文化創造都市）に、一段と加速度を加えなければならない極めて重要な年であります。

平成5年度の当初予算編成に当たっては、現下の急務である景気の回復、地域経済の活性化に、特に配慮しつつ、なすべき施策を遂行すると基本姿勢のもとに、次のような点に留意し、意欲的な編成に努めました。

その第一は、火の国フェスタ'93への取り組みです。これは、本市発展のこれまでの歴史に学び、旧飽託郡四町との大合併を契機に、我が国内外に成長期にある新生熊本の姿、魅力を紹介、地域経済の浮揚とこれからの都市の飛躍につなげるために企画したもので、観光、運輸、物産振興等々、その幅広い波及効果と、景気対策にもつながるものと期待しています。

第二は、社会資本の整備、公共事業の推進を核とする景気浮揚対策です。平成4年度においても、多額の景気対策補正予算を計上するなど、財政的に可能な限りの対応に努めてきましたが、我が国の景気は低迷基調にあり、むしろ、その地方都市への波及が懸念材料となっています。

従って財政の先行きが厳しい中ではありますが、地域経済浮揚に大きな効果があり、都市の発展にも重要な道路、公園、住宅、上下水道等の社会資本の整備に、重点的に財源を投入、同時に、環境総合研究所、健康文化施設、子ども文化施設等の新たな施設建設にも、具体的に取り組むことにしています。

第三は、新総合計画において、重点課題と位置付けた政策課題へのより一層積極的な取り組みです。この分野では、か

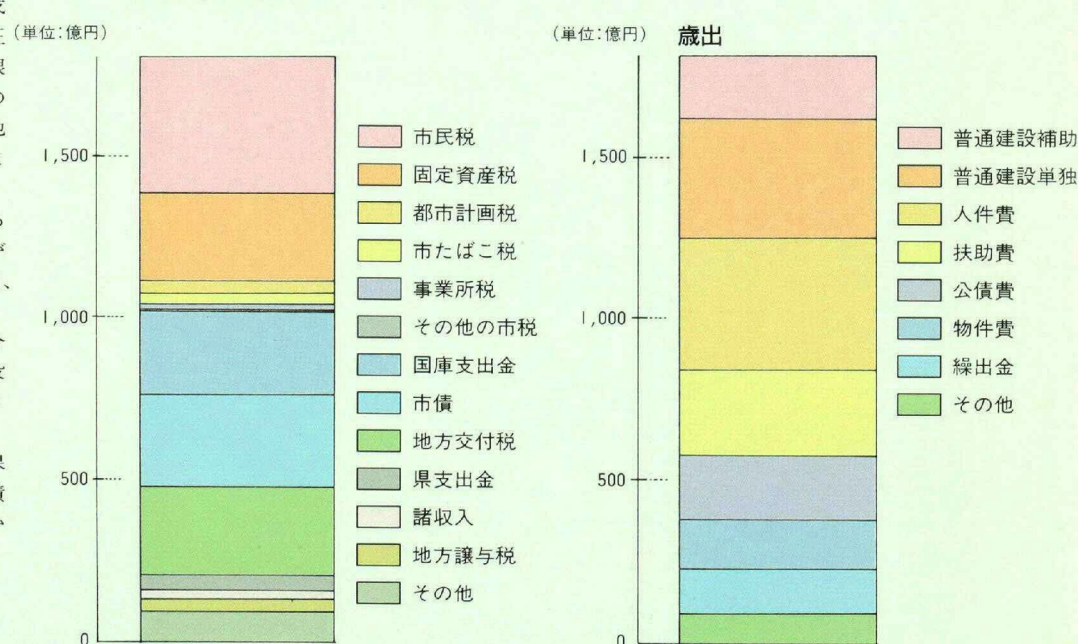
けがえのない地下水の保全と、資源の有効利用等の環境問題、市民に身近な施設の更なる充実と、その人の立場に立って、よりきめ細やかな対応を目指す福祉施設の展開、市立大学設置調査の着手や少子化社会対策を含めた人づくりの対応、そして火の国フェスタを舞台とする海外友好都市との国際交流など、それぞれの課題に、更に力を注ぐこととしました。

第四は、活力あふれる交流拠点都市づくり、多核的な市街地構造の実現に向けての対策です。

この分野では、九州新幹線の誘致や熊本港背後地計画の策定、熊本駅周辺、南熊本駅周辺の再整備調査の推進や、健康地区地下駐車場建設調査、上熊本駅周辺における電車基地の設計などに、従来にも増して、意欲的に取り組むとともに、7年後に迫った国民体育大会の開催に向けてのプール建設事業にも、いよいよ具体的にに取り組むこととしました。更に、新熊本市の一体的、かつ、バランスのとれた発展のため、総合支所管内の諸事業についても、特に意を用いたところ。この結果、本市の当初予算は、一般会計 179,900,000千円

●平成5年度当初予算(一般会計)構成比

総額 1,799億円



(対前年度 11,900,000千円 7.1%増)
特別会計 140,830,000千円
(対前年度 8,840,000千円 6.7%増)
企業会計 37,290,000千円
(対前年度 2,354,000千円 6.7%増)
総計 358,020,000千円
(対前年度 23,094,000千円 6.9%増)となりました。

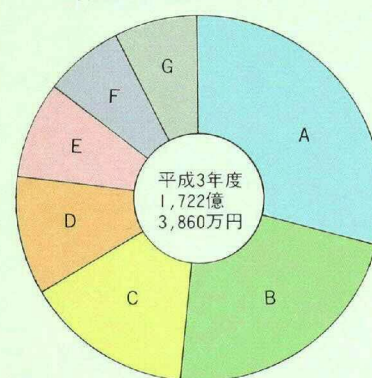
一般会計において、歳入面では、自主財源と依存財源の構成比でみると、自主財源が49.4%（前年度51.3%）となっており、うち市税が歳入総額の43.3%（前年度43.6%）を占めています。

また、歳出面では、目的別にみると土木費（21.5%）が景気対策とも関連して、23年ぶりに構成比で最高となり、民生費（21.0%）、教育費（14.1%）の3科目で予算の半分以上を占めています。また、性質別では、社会資本の整備を図る投資的経費について重点的に予算配分してあります。

このように本年度予算は、厳しい財政環境にありながらも市民生活の充実と市政の一層の発展を期すべく積極的に編成しました。

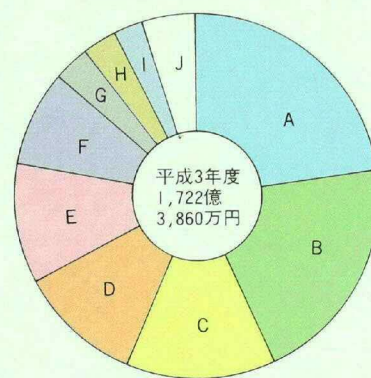
●平成3年度決算(一般会計)の状況

①性質別経費の状況



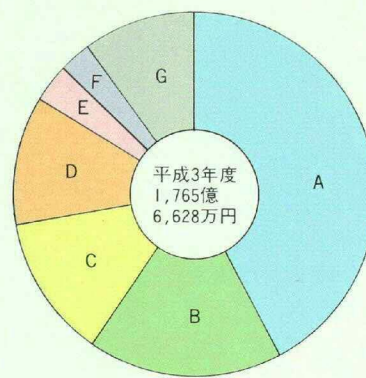
A 普通建設 29.2%
B 人件費 22.3%
C 扶助費 14.7%
D 公債費 10.8%
E 物件費 8.7%
F 繰出金 7.3%
G その他 7.0%

②目的別経費の状況



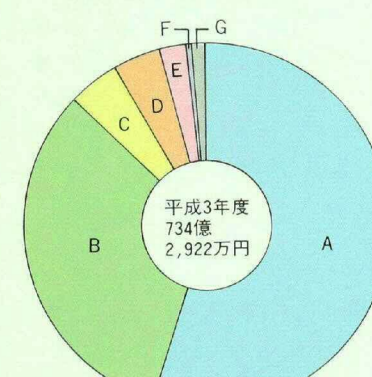
A 土木費 22.4%
B 民生費 20.7%
C 教育費 13.5%
D 公債費 10.8%
E 総務費 10.4%
F 衛生費 8.5%
G 消防費 3.2%
H 農林費 3.0%
I 商工費 2.6%
J その他 4.9%

③歳入内訳



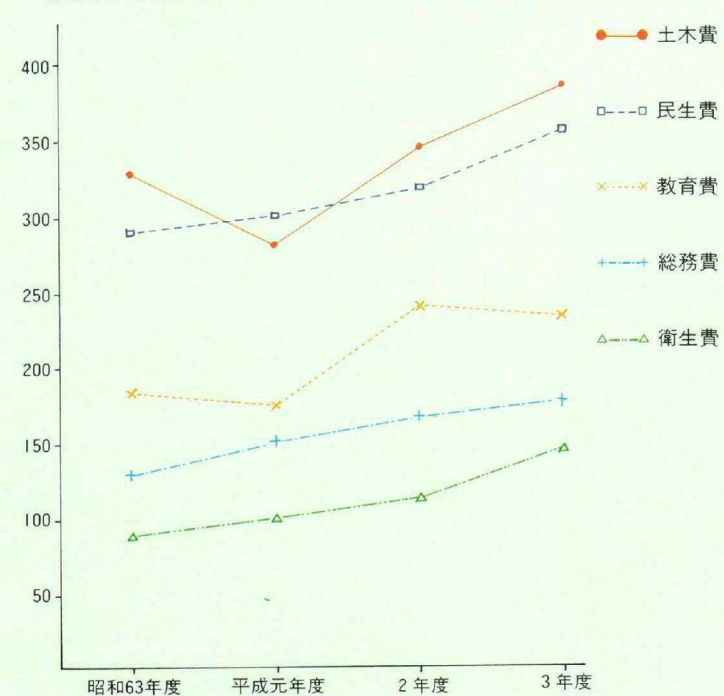
A 市税 41.6%
B 地方交付税 17.5%
C 国庫支出金 12.8%
D 市債 11.9%
E 繰越金 3.3%
F 県支出金 3.2%
G その他 9.7%

④市税収入の税目別内訳



A 市民税 54.8%
B 固定資産税 32.6%
C 都市計画税 4.7%
D たばこ消費税 4.3%
E 事業所税 2.3%
F 軽自動車税 0.5%
G その他 0.8%

⑤主要費目行政費の推移



平成5年度当初予算の主要概要 (単位:千円)

(総合基本計画構想に基づくジャンル別主要事業)

「水と緑の人間環境都市」	
九州新幹線対策経費	21,000
東部清掃工場第2期建設事業	7,946,500
緑化推進事業	310,000
自然環境保全事業	125,205
水資源対策事業	287,250
環境総合研究所(仮称)建設事業	846,000
駐車場案内システム整備経費	136,000
都市計画道路事業	2,645,000
公園整備事業	1,439,500
西部第一土地区画整理事業	559,163
公共下水道築造事業	14,500,000
公営住宅建設事業	9,656,275
住宅用地先行取得事業費	1,400,000
市道新設改良事業	2,174,000
橋梁新設改良事業	313,000
都市小河川整備事業	1,260,000
排水路整備事業	801,000
浸水解消対策事業	733,400
高速消防艇導入経費	296,000
「いきいきとした市民福祉都市」	
在宅福祉センター建設事業	315,000
地域福祉コミュニティセンター建設事業	115,000
高齢者・障害者にやさしいまちづくり事業	180,000
西里老人福祉センター(仮称)建設事業	11,000
エイズ対策事業	10,000
義務教育施設大規模改造事業	560,000
義務教育施設整備事業	2,718,778
水泳プール施設整備事業	662,143
校内環境整備事業	283,000
子ども文化施設(仮称)建設事業	1,526,000
健康文化施設整備事業	354,000
国体プール建設事業	3,127,000
「活力あふれる交流拠点都市」	
国際交流会館(仮称)・職員厚生施設建設事業	1,634,000
四番漁港改修事業	100,000
農業用排水路整備事業	1,146,000
食品工業団地建設推進経費	9,000
健康商店街文化施設(仮称)建設事業	774,010
公共地下通路(歩道)建設事業	780,000
「風格ある文化創造都市」	
市史編さん関係経費	97,200
熊本城二の丸売店・休息所改修事業	94,435
動植物園施設整備事業	176,500
市民会館大会議室改修事業	68,000
熊本城天守閣改修事業	386,630
シンボルロード整備事業	276,000
道路環境整備事業	900,000
景観照明事業	170,000
橋梁景観整備事業	65,000
後藤是山旧居整備事業	23,000

広報 HUMAN CITY KUMAMOTO 広聴

本市は、21世紀に向けて「人間味あふれる街ーヒューマンシティ」づくりを進めています。

このヒューマンシティづくりのために四つの都市像「水と緑の人間環境都市」「いきいきとした市民福祉都市」「活力あふれる交流拠点都市」「風格ある文化創造都市」の実現を目指して、現在、広報・広聴活動を展開しています。

広報活動は、市政に対する理解と関心を高めるとともに、市政への市民参加を進めるために適時、適切な市政情報をいろいろな広報媒体を通して提供しています。

広聴活動は、広く市民の声を聴き、市政に反映させるため、市政懇談会や市政モニター制度を活用しながら進めています。

「市政だより」などによる広報

月1回1日発行、全世帯配布、発行部数約221,000部。また、弱視者や目の不自由な方などのために「拡大版市政だより」「点字だより」「声の市政だより」を配布しています。

このほか、市の施策方針を紹介した「ヒ



市政番組の収録

ューマンシティくまもと」(年1回)やその施策を具体的に紹介する「萌」(年3回)を発行し配布。

「テレビ・ラジオ」による広報

「市民のひろば・手取本町1番1号」

RKK・TV 毎週土曜日

午前9時25分～(5分間)

「こちら熊本市」

TKU・TV 毎月第4土曜日

午前7時45分～(15分間)

「みどりの街から熊本市」

KKT・TV 毎週日曜日

午前11時45分～(5分間)

「お元気ですか 熊本市」

KAB・TV 毎週土曜日

午前10時55分～(5分間)

「ダイヤルワイド 今日元気」

RKKラジオ 毎週月曜日

午前9時30分～(2分間)

「フレッシュ・フラッシュ・クマモト」

FMKラジオ 毎週火曜日

午前8時40分～(5分間)

「サウンド ギャラリー」

FMKラジオ 毎週金曜日

午前7時50分～(1分間)

このほかテレビスポットも随時放送します。

市政懇談会

市政に対する意見や提言を聴き、市民意識を把握して、今後の市政運営に反映させます。

市政モニター

市政に対するいろいろな意見を地域別、年代別等組織的に聴き、市民の声として市政に反映させます。

モニター 60人 研修会等開催 8回

市民相談

行政サービスの向上を図るため、市民相談窓口では多くの要望、苦情などを迅速に対応し処理しています。また、特別相談として、専門相談員による法律、税務、登記、人権などの相談を行っています。

●市政相談年度別受付件数

昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度
903件	774件	607件	421件	310件

●特別相談利用状況 (平成3年度)

法律相談	サラ金(苦情)相談	登記相談	人権相談	税務相談
798件	512件	405件	279件	231件

市民のくらし

平成4年



世帯人口 1世帯当り2.7人



人口密度 1km²に2,375人



出生 1日につき19.3人



死亡 1日につき10.4人



結婚 1日につき11.1組



離婚 1日につき2.9組



転入 1日につき98.8人



転出 1日につき95.4人



酒 1人1日0.18リットル



乗用自動車(軽自動車を含む) 1世帯に0.8台



犯罪 1日に26.5件



交通事故 1日に11.5件



市職員一市民96.5人に1人



消防職員 市民1,035人に1人



火災 1日に0.50件



水道使用量 1日1人あたり262ℓ



ごみ収集量 1日に829トン



市税 市民1人当り125,689円



市の予算 市民1人当り283,747円

(数値については平成3年分又は3年度分)

